

グループリビングの良さをひろめたい



神戸女子大学
教授 上野勝代 氏



はじめまして。このたび、会員になりました。神戸女子大学の上野です。

私が高齢者向けグループリビングに関心を持ったのは、20年ほど前の1993年に北欧に在外研究に出かけ、デンマークのコペンハーゲンで開かれたシニア向けコ・ハウジング（日本のグループリビングに近い）研究会に参加した時です。その当時は、そろそろ家族の介護が気になる頃でもあり、日本で高齢者向けの住宅はまだ整備されず、ましてケアが付いた有料ケアつきマンションはとても庶民が手の届くような価格ではりませんでした。公営のシルバーハウジングや軽費老人ホームの数は少なく、また所得制限があり、厚生年金で暮らす層つまり中間層が無理なく安心して入れるものがなかったのです。以後、デンマークを中心に北欧で調査を進め、日本でも調べてやっとCOCO湘南台にたどり着きました。ここには皆さんの叡智が詰まっています。この実践が日本に広まってほしいと願っています。これからも私でできることは共にやっていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

ホームページ GLnet のお知らせ

<http://glnet.sfc.keio.ac.jp/>



ホームページ GLnet は JKA 補助事業「お年寄りが幸せに暮らせる社会を作る活動」で運営しています。先駆的なグループリビングの活動や研究成果を掲載しています。

今年度は全国4か所で行ったワークショップの講師の講演と座談会の様子をアップしました。

今後も各地のグループリビングの様々な取り組みや研究成果を公開していきます。

ワークショップ 12月7日(土)

神奈川県川崎市 COCO 宮内

地域をつなぐグループリビング



COCO 宮内 外観



WS 主催 挨拶 星川光子氏



講師 原 真澄美氏



会場の様子



関係者のコメント



関係者のコメント



運営者のコメント



カフェ Be Born



座談会

NPO法人いぶりたすけ愛主催、NPO法人グループリビング川崎、グループリビング運営協議会が共催、財団法人JKA（お年寄りが幸せに暮らせる社会をつくる活動）後援で「COCO 宮内」で「川崎ワークショップ」を開催しました。まず初めにNPO法人グループリビング川崎原真澄美氏が『COCO 宮内の暮らし』の講演、続いて座談会『COCO 宮内の多様なネットワーク』を行いました。慶應義塾大学総合政策学部教授 大江守之氏の司会で、COCO 宮内の運営者、居住者、NPO グループリビング川崎の理事、スタッフ、その他の関係者がCOCO 宮内の生活や運営について経験や意見を述べました。52人の参加者がありました。

参加者の感想

- ・終のすみかになると思っていたので、少し誤解していました。地域との関係は勿論、必ず訪れるであろう不安に対処するのはやはり地域との関係があってこそですね。
- ・グループリビングについて興味があり参加しました。実際に見学し運営者の方々のお話をきいて、いいことをする人にはいい人が集まってくるのだと思いました。スタッフの方々の笑顔に励まされました。自分の地域でこんな暮らし方をできるかをこれから探してみたいと思います。
- ・とても良い会でした。ただ、経営面も知りたかったです。
- ・生活者の方のお話がとても良かったです。生の声は説得力がありました。
- ・COCO 宮内にかかわりのある方たちのお話が聞けてよかったです。
- ・地域とのつながりが確立されている様子を知ることが出来た。様々な仕掛けを作り、関わり続けるのは、目に見えづらい努力の積み重ねを感じた。
- ・今まで関わってきた中でわからなかったことが、このような勉強会に参加して少しずつ理解できるようになりました。いろいろな問題点などもわかってとても勉強になりました。
- ・COCO 宮内のことは、大江先生からお話を聞いていて、とても興味を持っており、今回のワークショップに参加させていただきました。実際に来てお話しをお聞きし、やはりとても充実していらっしゃる様子に感動しました。理事の方、スタッフの方、入居者の方、とても良い関係に見えました。やはりオーナー理事長の原さんのお人柄なんだろう、と思いました。そしてまた、いつも思うのは後継者問題です。今後グループリビングが発展していくには大事な課題だと思います。

「COCO 宮内」の経緯

「COCO 宮内」は不動産業を営む(有)ミヤヨシエステートが「COCO 湘南台」に感銘を受け、社会貢献のために作ったグループリビングです。グループリビングに食事や掃除などのサービスを提供しているのは NPO 法人グループリビング川崎が行っています。(有)ミヤヨシエステートの社長 原氏の奥様が NPO 法人グループリビング川崎の理事長という関係の中で事業をしています。

グループリビングと同じ建物内に、コミュニティカフェ、趣味の教室、ピアノ教室、こども教室などが併設されています。また高齢者だけではなく多世代の地域の人を巻き込んだイベント、お茶会や「COCO へ行こう！」など地域交流を活発にされています。これらの活動を通して地域の中に支援の輪を広げています。

川崎市が発行する「高齢期の住まいガイド」にも掲載されており、行政もグループリビングを応援しています。



新座ワークショップ 12月8日(日)

埼玉県新座市 グループリビングえんの森

地域で暮らし続けるグループリビング



講師 星野友里氏



講師 小島美里氏



会場の様子



会場の様子



会場の様子



講師 大江守之氏



建物外観



居間・食堂



夜景

NPO法人いぶりたすけ愛主催、NPO法人暮らしネット・えん、グループリビング運営協議会共催、財団法人JKA（お年寄りが幸せに暮らせる社会をつくる活動）後援で「新座ワークショップ」を開催しました。まず立教大学博士後期課程 星野友里氏が『グループリビングという住まい方』について基調講演を行いました。続いて見学地であるNPO法人暮らしネット・えん代表理事 小島美里氏が『暮らしネット・えんがグループリビングを作った理由』について講演を行いました。その後、『グループリビングえんの森で暮らす、支える、繋がる』をテーマに座談会を行い、理事、居住者、家族、事務局・ケアマネ・訪問ヘルパー・ご近所の人達の声聞くことができました。61人の参加者がありました。

参加者の感想

- ・すばらしい環境にびっくりしました。自立と共生の理念を持って悩みながら仲間と一緒に進んでいく姿勢に感動しました。自分の町でできるのかこれから検討していきたいと思います。又力を貸して下さい。
- ・総合的に見聞でき、意味ある経験でした。申込資格年齢になったら考えたいなと思います。シンプルで心地良い建物だと感じました。
- ・利用者の方の意見が大変参考になりました。
- ・グループリビングという住み方があることを初めて知りました。
- ・「えん」のパワーを感じました。介護サービスと小島さんの個のパワーが「グループリビング」を構成していると思います。
- ・沢山の意見が聞けて勉強になりました。特に居住者の話が聞けてよかった。ますます高齢化が進み不安に思っている方は多いのでは、と思っている。

グループリビングえんの森の経緯

グループリビングえんの森を運営する NPO 法人暮らしネット・えんは「高齢になっても障がいがあってもおとなも子どもも共に生きる地域」を目指し、埼玉県新座市で居宅介護支援や訪問介護、認知症通所介護、認知症専用共同生活介護、小規模多機能などの介護事業、高齢者のためのコンサートなどの文化事業、配食事業など幅広く活動しています。

代表理事の小島氏は COCO 湘南の西條節子氏と議員時代からの知り合いで、30 年前に西條氏の将来の住まい方の構想を聞き感銘を受け、その 20 年後、暮らしネットを始めた頃、報道で西條氏が構想を実現したことを目にして連絡を取ったところ、グループリビングを作るように勧められ、JKA 補助で 2011 年 7 月にグループリビングえんの森を開設しました。



グループリビング訪問記が完成しました！

テーマは「自由な暮らし。自分らしく、ともに住もう。」

グループリビング運営協議会の会員が
記者になって取材しました。

取材先

- ・じゅげむ館きたみ（北海道北見市）
- ・てのひら（兵庫県高砂市）
- ・COCO 宮内（神奈川県川崎市）
- ・えんの森（埼玉県新座市）

住まいの概要や建築図、居住者の家計簿などグループ
リビングの情報が満載です。



ご希望の方はグループリビング協議会 土井原まで FAX かメールでご連絡ください。

FAX 0466 - 42 - 5767 natsue@sfc.keio.ac.jp

グループリビング運営協議会 会員募集中

グループリビングの暮らし方や運営について、一緒に考えて
いくことのできる仲間、情報提供してくれる仲間を作りませ
んか。

■グループリビング運営協議会 連絡先 土井原奈津江

NPO 法人 COCO 湘南内

TEL 0466 - 46 - 4976 ・ FAX 0466 - 42 - 5767 （1PM～5PM・平日）



編集後記

今年度は4つのグループリビングを訪ね、ワークショップを行い、地域にグループリビングの暮らし方を伝えるとともに、グループリビングの様々な利点や問題点を知り、考える有意義な機会となりました。その成果を訪問記、報告書、HPの記事としてまとめました。グループリビングの関係者が様々な角度から発言し、グループリビングの実態を生声で知ることができたワークショップの座談会は報告書には掲載していませんがHPの記事になっています。ぜひHPをご覧ください。今年度の事業は担当の法人、記者、講師の皆様のご協力、財団法人 JKA の補助金のおかげで、内容の充実したものになりました。ご協力ありがとうございました。来年度も引き続き、同様の活動をしたいと考えています。（な）

編集委員 星川光子 土井原奈津江 星野友里



この会報は(財)JKA 補助事業「お年寄りが幸せに暮らせる社会を創る活動」で
運営されています。